



2025-26 INTERNATIONAL ROTARY DISTRICT2770
ROTARY CLUB OF IWATSUKI
since 1963

Weekly Report

UNITE
FOR
GOOD

よいことのために手を取りあおう

2025-2026 関根信行年度 第16回 通算 2894 例会

令和7年12月4日(木)
12月第1例会

本日の例会

例会場	料亭ふな又
点鐘	12:30
テーマ	会員増強卓話
主管	会員増強・職業分類・選考委員会
・ロータリーソング	奉仕の理想
・四つのテスト・ロータリーの目的	津多一幸会員
・本日のお客様	地区会員増強維持 部門委員長 渡辺 正文 様 地区会員増強委員長 佐久間 誠 様

次回例会案内

令和7年12月11日(木)
例会場 ステラ・デル・アンジ エ

点鐘 18:00

2025-2026 年度
岩槻ロータリークラブ
会長 関根信行
幹事 小林 篤
会場出席・公共イメージ 委員長 星 和彦
例会場 ふな又
例会日 木曜日
点鐘 第1・第2 12:30
第3 18:00

クラブ事務所
さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203
TEL 048-758-0680
FAX 048-758-0681
MAIL info@iwatsuki rotaryclub.jp



会長の時間

第63代会長 関根信行

皆さま、こんばんは。岩槻ロータリークラブ会長の関根信行です。本日は、私たちのクラブの未来にとって大切な「会員増強例会」に、多くの方にお集まりいただき、誠にありがとうございます。

さて、今週は私の子どもがインフルエンザに罹り、岩槻家は完全なロックダウン状態でした。家族での隔離生活は大変でしたが、そんな中、改めて「支え合い」の大切さを感じました。家族の協力や周囲の方々の温かい声かけが本当に心強かったです。この経験を通じて、ロータリークラブも同じだと思いました。

私たちの活動は、困ったときに助け合い、支え合える「つながり」を作る場であり、それを広げていくことが使命だと再確認しました。

会員増強を考える上で、先月11月の活動は多くのヒントを与えてくれました。まず、11月8日の米山梅吉記念館訪問では、ロータリーの原点に触れ、「奉仕の理想を自分事に」という言葉が心に残りました。私たちがクラブの魅力や意義を自分事として語り、伝えていくことで、新しい仲間を呼び込むことができるのではないかでしょうか。

次に、11月16日の地区大会では、「下町ロケット」のモデル、植松努さんの「思うは招く」という言葉が印象的でした。「こうありたい」と強く思うことが、仲間を呼び、未来を切り拓く力になると学びました。会員増強も、私たちが「どんなクラブにしたいか」「どんな仲間と活動したいか」を明確に描くことから始まるのだと思うます。

また、11月20日の青少年作文コンクール「岩槻区の未来像」の表彰式では、若い世代が描く希望に満ちた未来像に感動しました。本日、受賞者の皆さんにもお越しいただき、ありがとうございます。この未来を実現するには、私たち大人の力、そしてより多くの仲間の力が必要です。

米山翁の「奉仕の心」、植松さんの「思うは招く」という情熱、若者たちの「地域の未来」。これらが揃った今こそ、行動を起こす時です。そこで、今日からできる小さなアクションを提案します。

私たちの身近な行動が、新しい仲間を呼び込み、クラブの未来を豊かにします。Unite for good。よいことのために手を取り合いましょう。



お客様紹介



国際ロータリー第2770地区
会員増強維持部門委員長
渡辺 正文 様(戸田)



国際ロータリー第2770地区
会員増強委員長
佐久間 誠 様(越谷東)

幹事報告

幹事 小林 篤

- ・国際ロータリー第 2770 地区より、第 3 回 P H S ・ P P S 勉強会についてご案内。
日程：12 月 22 日（月）18：30
開催方法：ZOOM
- ・第 3 回 I M 実行委員会が 2 月 3 日 焼き肉やっちゃんで開催されます。内藤 I M 実行委員よろしくお願ひします。
- ・国際ロータリーより疾病予防と治療月間についてのリソースのご案内が届いております。
- ・R I 日本事務局財団室 N E W S 12 月号の案内
- ・大宮西 R C 、大宮東 R C 、岩槻東 R C 、大宮北東 R C より 12 月の例会予定表、大宮西 R C より 11 月の週報が届きました。
- ・岩槻東 R C 幹事・小泉真吾会員の御尊父様の訃報



表彰

●地区大会表彰状

会員増強優秀クラブ第 1 位



●R L I 卒業証 内藤 明 会員



●R L I パート I 修了証 津多一幸 会員



卓話

会員増強・職業分類・選考委員長

鈴木真樹

皆さん、こんにちは。

本日はお忙しい中、ご来場いただき誠にありがとうございます。

越谷東ロータリークラブ所属で 2023 ~2024 年度会長を務められ、現在は地区で会員増強委員長を務めておられる佐久間誠様にお越しいただいております。



佐久間様には、会員増強やクラブ運営に関する貴重なお話をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

国際ロータリー第 2770 地区 会員増強委員長 佐久間誠 様



皆さんこんにちは。本年度、地区会員増強委員長を仰せつかっております佐久間でございます。

地区に初めて出向したと思ったら、いきなり委員長という大役をいただき、正直驚きました。結果が出せるのか毎日不安もありますが、ロータリー全体の会員数が減少している現状を前に、「このままで大丈夫だろうか」という危機感を持ちながら活動しております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

私は越谷市平方南町で、土木工事を中心とした建設会社を経営しております。

もともとは砂利や砂の販売から始めた会社で、「株式会社さいたま資材」という社名で事業を行っておりますが、現在は工事業が本業となっています。

ロータリーに入会したきっかけは、以前勤めていた販売会社の社長からの誘いでした。

私が独立したタイミングで「入会しないか」と声をかけられ、よく分からぬまま例会に連れて行かれ、「宗教なのかな?」と思いつながら帰りには入会申込書を書かされ、2012 年に入会しました。しかし入会後 6~7 年は、ほとんど幽霊会員でした。

4 年目に社会奉仕委員長を任せましたが、何をすればいいのか分からず、理事会にもほとんど出席しない状態で、当時の会長・幹事には「とんでもない委員長を任せてしま

った」と思われていたようです。実際は幹事がすべてフォローしてくれていました。

その後、入会 7 年目、2018-19 年度に突然幹事を打診されました。

当時の浜野会長が「幹事をやる人がいない」と、同期の仲間と私をゴルフに連れ出し、最初は勝っていたのですが、後半で大叩きしてしまい、気づけば幹事を引き受ける流れになっていました。

ただ、その会長を私はとても信頼しており、「力になりたい」という思いで幹事を務めました。

会長は毎回の例会で「増強、増強」と言い続けていました。理由は、当時クラブは 45 名でスタートしたものの、退会が続き 42 名まで減少し、事業の継続が難しくなっていましたからです。

例会の弁当も 1700 円から 1000 円以下に下げざるを得ず、楽しいはずの例会が節約一色になり、雰囲気も沈んでいました。

そこで「まず自分たちが楽しもう」と考え、仲間と一緒にクラブを盛り上げることから始めました。

楽しくなれば人を誘える。実際、仕事関係や友人を説いて、1 年で 10 名ほど増え、42 名から 52 名になりました。そこからが私の増強への意識の始まりでした。

その後も、入会したメンバーがまた友人を説いて、その友人がさらに友人を説くという“芋づる式”的な増強が続きました。毎年 1 割ほど退会者は出ますが、それ以上に入会者を増やすことで、5 年間ほど会員数は横ばいを維持し、コロナ禍でもクラブは安定していました。

コロナで例会ができなくなった時、当時の会長が Zoom 例会を開催し、夜はオンライン飲み会を企画するなど、クラブの結束を保つために努力されました。

その会長が掲げたテーマが「選ばれるクラブ」。

私たちも「東クラブが選ばれる存在になろう」と意識し、活動していました。

その後、私の前年度の会長が「古き良きものを残しつつ、時代に合わない慣習はやめよう」と、会長挨拶でクラブ内の問題点を次々と取り上げました。

派閥のようなものが存在し、席順やパスト会長の座る位置など、古い慣習が若い会員の負担になっていたためです。会長は批判も受けましたが、その改革のおかげでクラブの雰囲気は大きく改善し、私の会長年度は非常にやりやすい環境になりました。

会長になると PETS で「あなたの年度はどうしたいか」と問われ、私は勢いで「毎月 1 名入会させます」と宣言してしまいました。

言ったからにはやらなければならない。

そこで、青年会議所の卒業式に花を贈ったり、飲みの場に顔を出したりしながら、少しずつ関係を築き、食事に説いて、帰り際に入会申込書を書いてもらうという方法で増強を進めました。

その結果、私の年度は 22 名の入会があり、表彰もいただきました。しかし、これは私一人の力ではなく、クラブが

楽しくなり、入会者がまた友人を説くという好循環が生まれた結果だと思っています。

会員が増えると、事業の幅も広がります。

市民祭りでは、以前は大凧だけだったものが、ミニバスケットや格闘技イベントなど、若い会員の提案で新しい企画が増えました。

高校野球大会も華やかになり、今年は越谷東高校が甲子園に出場したことで寄付金も集まり、大変盛り上がりました。

一方で、会員が増えると課題も生まれます。

出席率は 70~80% から 60% 台に落ちました。入会しただけで例会に来ない会員も増え、夜間例会に呼んだり役割を与えたりして工夫しています。中には 7 年前に入会して 2 回しか例会に来ていないのに、旅行やゴルフだけ参加する会員もいます。温度差をどう埋めるかが今後の課題です。

さて、こちらのクラブは前年度地区で会員増強 1 位を達成し、10 月末までに大きな成果を上げておられました。

ホームページを拝見すると、3 年未満の会員が 14 名もあり、約半数が新しい仲間という活気あるクラブだと感じました。新入会員が楽しめる環境が整えば、さらに芋づる式に仲間が増えていくと思います。

地区全体を見ると、今年度は 2147 名でスタートし、現在は約 60 名増えていますが、退会者も多く、維持の重要性が高まっています。

第 8 グループでは「他クラブに負けたくない」という競争意識が強く、会員の“取り合い”的な状況もありますが、それが結果的に増強につながっている面もあります。

私たちが大切にしているのは、先輩方が築いてきた「古き良き伝統」を残しつつ、新しい取り組みを進めることです。

先輩会員が若い会員にロータリーの心得を伝える文化があり、選挙活動禁止などのルールも自然に学べます。

こうした伝統と新しい活動の両立が、クラブの活性化につながっています。

また、懇親会の工夫やゴルフ・スキー・旅行・ツーリングなどの非公式活動も盛んで、多くの会員が楽しみながら交流を深めています。私の年度に 22 名が入会したのも、こうした積み重ねが実を結んだ結果です。

私は現在 52 歳で、同年代の知人はすでに入会済みか引退してしまって、説く人が少なくなりました。

しかし、30~40 代の若い世代にはロータリーを知らない方が多く、若手会員が積極的に声をかけてくれているのは非常に心強いことです。

最後に、東京のロータリークラブの例として、10 名ほどの少人数で昼にコース料理を楽しみながら、会長挨拶や報告もなく、シンプルに食事と卓話だけを行うスタイルを拝見しました。福岡や銀座など、地域によって運営

方法はさまざまですが、どれも学びが多く、クラブ運営のヒントになると感じています。

私は地区の会員増強委員長として皆さんのサポーターでありたいと思っています。クラブからのご要望があれば、どこでも伺います。ぜひ気軽に声がけください。本日はありがとうございました。



米山記念奨学生

シュク・ウンゴ君

本日の例会において、シュク・ウンゴ君に関根会長から12ヶ月分の米山奨学生金を授与しました。

【近況報告】

12月7日(日)、パレスホテル大宮において開催された「米山感謝の集い」にシュク・ウンゴ君と小林利郎カウンセラーが出席しました。

当日は小林カウンセラーのお誕生日ということもあり、シュクくんはスピーチの中で小林会員へのお祝いと日頃の感謝の思いを述べました。



12月の誕生祝い

7日 小林利郎 会員



20日 富田友輔 会員



31日 三浦宣之 会員

スマイルBOX

ビジター

地区会員増強維持部門委員長 渡辺 正文 様

「本日宜しくお願い致します。」

地区会員増強委員長 佐久間 誠 様

「本日は卓話させていただき有難うございます。共に会員増強がんばりましょう！」

メンバー

遠藤隆雄 地区委員長、卓話よろしくお願ひします。

小林 篤 佐久間委員長、本日はよろしくお願ひします。

小林利郎 誕生祝いありがとうございます。

鈴木真樹 地区会員増強維持部門より渡辺委員長様、地区会員増強委員長佐久間様ようこそ岩槻RCへ。本日の卓話宜しくお願ひします。

関根信行 地区会員増強維持部門より渡辺部門委員長様、越谷東RCより地区会員増強委員長佐久間様、ようこそ岩槻RCへ。本日の卓話宜しくお願ひします。

津多一幸 本日は卓話よろしくお願ひします！

内藤 明 佐久間様、本日の卓話よろしくお願ひいたします。

能重裕介 本日もよろしくお願ひいたします。

星 和彦 渡辺様、佐久間様、ようこそ岩槻ロータリークラブへ。本日はよろしくお願ひします。

出席報告

会員数	出席数	免除者	MU	出席率
26	10		5	57.69%

スマイル報告

本日のスマイル合計	27,000 円
年間累計額	409,000 円